



錦町小中合同持久走大会がんばりました！

校長 田山 満則

12月4日(土)、昨年に引き続き、第2回小中合同の持久走大会を開催しました。当日未明に強い雨が降り、開催できるか心配しましたが、日中は日差しもあり、まずまずの持久走日和でした。

宇佐川小、錦清流小、錦中の児童生徒は、部門ごとにスタートし、多くの地域の方々の声援を受けながら、一人ひとりが全力を出し切って広瀬の町中を疾走しました。



【みんなで応援！】



【先導する中村さんと選手】



○ 多くの方々に支えられ成功 ○

コース沿道からたくさんの声援は、児童生徒の励みとなり、全員完走することができました。交通整理をしていただいた錦千守会、やましろ商工会青年部、錦安全パトロールの皆様やレースの先導と最後尾を務めていただいた地域の皆様など、多くの方々のお陰で大成功しました。



改めて、子どもたちは地域に支えられて成長していることを実感しています。今後ともよろしくお願いいたします。 【地域の声援を受け力走する選手】

○ ほっこり場面 ○

中学女子の部の途中、1年生の一人が片足の不調でペースダウン。そこに後方を走っていた3年生が手を差し伸べ、手をつないでゴールしました。正式の競技にはない光景です。しかし、「誰一人リタイヤを出したくない」「皆でゴールしたい」という優しい気持ちで、この行動につながったのでしょう。本大会ならではの、ほっこりした一場面でした。



【3年柴田さんに励まされる1年川元さん(右)】

「マラソンクリニック」を開催

合同持久走大会の1ヶ月前から、本校の学校運営協議会会長の中村克敏様を指導者にお招きして、長距離走の走り方を指導していただきました。

中村さんは、社会人になってから長距離走を始められたそうで、今ではフルマラソンを何度も完走していらっしゃるアスリートです。

走る姿勢や呼吸法、LSD(Long Slow Distance)の方法を生徒と一緒に走りながら教えてくださいました。お陰で、当日の大会では、皆良い走りをすることができました。ありがとうございました。



【LSDの指導を受ける生徒】

小中高合同避難訓練を実施

11月30日(火)、小中高合同の避難訓練を実施しました。

「豪雨で錦川が増水する中、地震が発生し、土砂が川に流れ込み危険な状態である」という設定で行いました。川沿いにある錦清流小学校と岩国高校広瀬分校の児童生徒が、高台にある錦中学校に避難して合流するという訓練でした。

高校生は、小学校低学年の児童の手を引いて、本校グラウンドに到着しました。本校の生徒会執行部は、安全な経路を指示し、誘導しました。

20名ほどの地域住民の皆様もご参加くださり、万が一の時のために備えました。

訓練後の講評では、岩国地区消防組合中央消防署玖北第一出張所消防指令の山田広海様から「緊張感のある避難訓練でした」「小中高、地域合同の訓練は意義深い」「まずは自助を心がけ、中高生は小さな子を助ける共助を心がけて」等のお話をいただきました。



【まずは迅速な避難】



【誘導する生徒会執行部】



【講評を受ける児童生徒・教職員と地域の皆様】



【後方から見守る地域の皆様】

《月頭集会》

12月の月頭集会では、国語科担当の松本先生が絵本の読み聞かせをしてくださいました。

「中学生に絵本!?!」と思われるかもしれませんが、内容は思いやりの心を育むもので、松本先生の感情のこもった読み聞かせで、生徒はすっかり絵本の世界に引き込まれました。

まさに、全校での道徳授業となりました。



《坂道清掃》

朝7時40分、いつもより登校時間が早いなど感じながら、生徒とあいさつを交わしていると、竹ぼうきやてみを持って再び坂道へ。

桜並木が続く本校の坂道は、この時期落ち葉でいっぱいになります。

落ち葉掃きは、生徒会執行部の自主的な清掃活動です。

誰かのために力を発揮する…。

自己有用感を感じていることでしょう。

